

科目名・科目番号 (022711)		教員名 椎名 清和	学科等	社会福祉・選択	履修年次	2
児童・家庭福祉Ⅱ			曜日・時限等	月曜4時限・前期	単位数	2
			オフィスアワー	木曜日・3時限	B217研究室	
授業概要 とねらい	児童・家庭福祉の幅広い分野について、現状と課題、取組、その背景について学び、児童福祉専門職、相談援助活動についての理解を深める。また、児童・家庭福祉の課題に対する対応を自ら考えられるようになることを目指す。					
到達目標	①児童・家庭福祉の幅広い分野について、現状のみならずその背景を理解する。 ②児童福祉の専門職の意義と役割について説明できる。 ③相談援助活動について、多様な事例検討を通して理解し、対応を考えられるようになる。 ④児童・家庭福祉にかかわる多職種・施設間の連携・ネットワークに関する知見を得る。					
準備学習	授業内容にそって、教科書の該当箇所を事前によりみ、わからないことがあれば調べ、授業に臨むこと					
授業計画	回	授業内容	行動目標			
	1	少子化と子育て支援サービス	『授業計画(シラバス)』を用いて授業計画や評価方法等を理解する。 次世代の子どもを健やかに産み育てる環境づくりに関わる課題を学ぶ。			
	2	母子保健	母子保健法の概要や母子保健施策の現状を理解する。 健やか親子21(第2次)において示されている指標を理解する。			
	3	多様な保育ニーズへの対応	保育の目的や施策の現状と、多様な保育ニーズの存在について理解する。 「施設型給付」と「地域型保育給付」について理解する。			
	4	児童の健全育成	児童健全育成施策の目的と現状、および課題について理解する。 地域子ども・子育て支援事業の概要を理解する。			
	5	社会的養護	最新の『社会的養護の現状について』(厚生労働省)をもとに、社会的養護の課題を整理する。			
	6	障害のある児童への対応	児童福祉法と障害者総合支援法における障害児福祉サービスについて整理する。			
	7	少年法と司法福祉	少年法の概要と運用の実態を理解する。 少年法と児童福祉法との適用関係を整理する。			
	8	ひとり親家庭の福祉	最新の『ひとり親家庭の支援について』(厚生労働省)をもとに、ひとり親家庭の状況を学び、「ひとり親家庭」の支援施策について理解する。			
	9	児童虐待	児童虐待の実態や対応、予防に関する取組等について理解する。 実践事例をもとに要保護児童対策地域協議会の取組について知る。			
	10	子ども家庭に関わる女性福祉	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の概要と配偶者からの暴力の現状を理解する。			
	11	児童家庭福祉の専門職・実践者(1)	児童福祉専門職の意義と役割、援助活動について、視聴覚資料等により理解する。			
	12	児童家庭福祉の専門職・実践者(2)	児童福祉専門職の意義と役割、援助活動について、視聴覚資料等により理解する。			
	13	保育・教育・療育・保健・医療との連携とネットワーク	多様な施設ケア、職種間の連携とネットワークを学び、子どもと家族が中心の福祉ネットワーク形成の必要性について理解する。			
	14	次世代育成支援と児童家庭福祉の推進	子育て、保育の多様なニーズに対応すべく変容する児童家庭福祉の動向を理解する。			
15	児童家庭福祉の課題と展望	諸外国との比較を通して、今後の児童家庭福祉の動向について学び、講義全体の内容の理解を深める。				
成績評価の方法・基準	学期末の試験(80%)および小レポート(20%)で評価する。 総合成績が50～59点のものに対しては再試験を実施する。					
教科書	書名 新・基礎からの社会福祉7 子ども家庭福祉	著者 木村容子・有村大士 編著	発行所 ミネルヴァ書房			
参考図書	書名 日本子ども資料年鑑2017	著者 母子愛育会 愛育研究所編	発行所 中央法規			
教員からのメッセージ	少子化対策から子ども・子育て支援への転換が、平成27年度から子ども・子育て支援新制度としてはじまっています。これからの日本社会が目指すべき方向性を考えていきましょう。					